

図書便り



練馬区立石神井西中学校

令和元年 11 月

台風による被害が相次いだ先月は、自然の驚異を目の当たりにすることも多い月でしたが、街路樹に目を向けると美しい自然の営みを感じる季節になりました。

今月は読書月間に加えて、新しい本もたくさん入りました。ぜひ図書室に足を運んでください。

〈11月図書カレンダー〉

月	火	水	木	金	土	日
				1 2年校外学習	2	3 文化の日
4 振替休日	5★ 安全指導	6 部活動再登校 短縮B時程	7★ 短縮A時程	8 中央委員会	9 閉室 授業日	10
11★朝礼 短縮A時程	12	13	14	15 ★	16	17
18 特別時程 2 学期期末 考查① 閉室	19 特別時程 2 学期期末 考查② 閉室	20★ 各種委員会	21	22★ 1年校外学習	23 勤労感謝の日	24
25★ 生徒会朝礼	26	27	28★ 避難訓練	29	30 中P連 駅伝大会	

※月～金曜日のお昼休みは、開室、貸出しをしています。
(開室時間は図書室入口に表示してあります)
★がついている日は、学校図書館支援員が在室、放課後貸出ししています。
※閉室の場合は、返却する図書を廊下の返却BOXに入れてください。
※閉室と表示されている日は、閲覧、貸出しできません。

お知らせ

1. “石西秋の本まつり”には、たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。
イベント期間中に、どのクラスが一番多くの本を読んだかを競う「クラス対抗ブックレース」の結果は以下の通りです。

優 勝：1年F組（184冊）

準優勝：1年E組（143冊）

3 位：1年B組（64冊）



後期図書委員会でも、読書推進のためのイベントを企画中です。お楽しみに！


2. 10月下旬に新しい本が入りました。貸し出しは、11月5日（火）からです。
それまでは、図書室内での閲覧のみとなります。ご理解、ご協力をお願いします。
3. 10月16日から始まった“秋の読書月間”は11月15日（金）までです。
期間中は貸出し冊数が1人3冊です。この機会にぜひご利用ください。
4. 10月17日より、後期図書委員会の活動が始まりました。
カウンター当番など、不慣れで時間がかかることもあるかと思いますが、経験者に教えてもらいながら頑張っています。温かく見守ってください。



お薦め本の紹介

～11月の展示コーナーより～
“ノンフィクションを読もう！”


『みつばち高校生』～富士見高校養蜂部物語～ 森山 あみ 著 リンデン舎(請求記号:646モ)
“将来は農家のお嫁さんになって、農業をやりたい！”という^{こころざし}志のもとに、富士見高校に入学したものの、やりたいことが見つけれず悩んでいた千春を、高校の先生がフィールドワークに連れ出してくれました。千春は其中で、もっと自分の地域のことが知りたい！地域の人に喜んでもらいたい！という思いから、養蜂部を立ち上げます。

部員集め、蜂の巣箱作り、養蜂への理解など様々な壁を乗り越え、
農業甲子園大会に出場し、全国大会を制覇して成長していく高校生たちの姿に感動の一冊です。

『宮沢賢治の鳥』国松 俊英 著 ～宮沢賢治の鳥についての謎解き～ 岩崎書店(請求記号:Eミ)
宮沢賢治の童話や詩には、たくさんの鳥が出てきます。主人公が鳥で、タイトルに鳥の名前がついているものもあれば、脇役でも鳥が重要な役目をしているものもあります。それらの鳥の多くは日本に生息していますが、ハチドリだけは外国産です。しかもハチドリは、作品によく出てきて、重要な役割を果たしています。

どうしてハチドリがたびたび登場するのか？きっかけは？賢治がハチドリに強く魅了された出会いがあったのか？その答えは、この絵本を読んで見つけてください。そして改めて賢治の本を読んでみるきっかけになれば…と願っています。

『20歳のソウル』～奇跡の告別式～ 中井 由梨子 著 小学館(請求記号:289ナ)
闘病生活の末に20歳で亡くなった青年。
母親が高校の吹奏楽部の恩師に連絡を入れると、
部の卒業生で告別式に演奏をされると言われ…。
市立船橋高校・吹奏楽部員と、学校の応援曲「市船ソウル」作曲家・浅野大義さんの絆の物語です。

『ギャングを抜けて』 工藤 律子 著 合同出版(請求記号:369ク)
凶悪なギャング団が支配する街で生まれ育ち、ギャングの世界に片足を突っ込んだアンドレス。組織から、人を殺せと告げられた彼は、人殺しにならないため、ギャング団から逃れるため、着の身着のまま逃げ出し、旅の途中で出会う人々の助けを借りながら自活への道を歩みだします。
平和な日本では想像もできないような、過酷な運命に立ち向かって成長する少年の実話です。

この他にもたくさんのノンフィクション本を展示しました。

本当にあった出来事や実在した人間の人生を、本を読むことで追体験することができるノンフィクションは、深い感動と喜び、満足感を得ることができます。

この機会にノンフィクションの扉を開いてみてはいかがでしょうか。